



いしかわ労福協

第 491 号 2008年12月15日

発行所 石川県労働者福祉協議会
発行責任者 上田弘志
編集人 綿 征一
〒920-0024 金沢市西念3丁目3番5号
電話 (076) 231-1737
FAX (076) 231-1731
http://www.ishikawa-rofukukyo.jp
info@ishikawa-rofukukyo.jp
毎月1回 25日発行
定 価 一部 20円
昭和39年3月30日 第三種郵便物認可

石川労福協、県ライフ・サポートセンター

無料職業紹介所「ジョブいしかわ」を開設



約一年半前より県労福協が準備してきた無料職業紹介所「ジョブいしかわ」が12月1日(月)に開設した。

当日、午前10時よりフレンドパーク石川3Fの無料職業紹介所相談室に石川県商工労働部労働企画課の澁谷秀行課長と川口喜仙企画労働福祉グループリーダーを招き簡素に開所式を行い、才田巖専務理事や綿征一常務理事、谷内英明・一明政行両LSC次長、直江圭祐緊サポアドバイザーと意見交換した。

才田専務より冒頭「石川県の支援・協力で開設できた」と話し、既に取り組んでいる労福協の視察や労福協理事産別、連合石川構成組織、石川県雇用支援協会、石川県中小企業団体連合会を訪問し、協力要請したことを報告し、「これから事業を進めながら、各企業に求人情報をお願いしていく。また、同時に訪問した県内9ヶ所のハローワークとジョブカフェいしかわとは、連携して求人・求職に対応したい」と述べ、ジョブいしかわの特徴を「中高年の就職支援を主に、個別面接とアドバイスに時間を費やしたい」と挨拶。澁谷課長は「北陸三県の9月の有効求人倍率は0.98倍で4年3ヶ月ぶりに1.00倍を割り込んだ。希望に近い職業を選択しづらい環境だが、親身になって相談にのってほしい」と激励があった。

【利用案内】

※利用は月～金曜の午前10時から午後4時まで。
※面接は事前予約が必要。
※場所：フレンドパーク石川(石川県勤労者福祉文化会館)
〒920-0024 金沢市西念3丁目3番5号
※申込：076(234)3945まで

無料職業紹介所 「ジョブいしかわ」

1. 基本的考え方

石川県における「求人・求職」の相談は、ハローワーク(県内に10ヶ所)を中心に展開され、また、若年層(35歳未満まで)を対象にした「ジョブカフェ石川」が定着している。

労福協は、中央労福協が提唱する、勤労者の就業支援をライフ・サポートセンター活動の一環として位置づけて、働き盛りの中高年者層の求職者や団塊世代の再就職希望者の就職先を支援するため、連合石川と連携して無料職業紹介「ジョブいしかわ」の設立に至った。

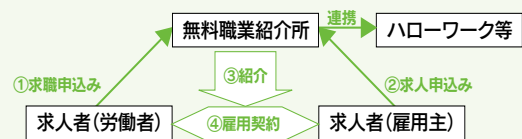
また、これを機会に県ライフ・サポートセンターを「暮らしの総合サポートセンター」として、福祉なんでも相談、緊急サポート事業、労働相談、石川勤労者互助会も含めトータルに運営していく。

2. 事業概要

(1)県内の働く意欲のある求職者の早期就職を目的に

県下の求人・求職情報を収集し、求職者の希望、適正、経験等を面談により把握したうえで求人企業に紹介する。なお、求人情報の収集は、ハローワーク等の情報と労福協スタッフが企業訪問を行い情報を収集する。

(2)無料職業紹介所のシステム



①求職申込み

・求職者によるキャリア登録と面談による相談を行う。

②求人申込み

・労福協スタッフによる求人情報の収集を行う。(企業訪問)
・ハローワークや職業紹介誌等から求人情報を得る。

③求人情報の提供および紹介

・相談と紹介およびインターネットや求人情報誌の閲覧。
・求人企業向け情報提供サービスの実施

④雇用契約書の作成・締結の指導



相談室のパソコン2台から、県内ハローワークの情報が検索できる

県ライフ・サポートセンター 第9回研修会

「暮らしの総合サポートセンター」を確認

県ライフ・サポートセンター主催の「第9回研修会」が11月26日(水)13時30分よりフレンドパーク石川で開かれた。

地域ライフ・サポートセンター(LSC)や連合石川、退職者連合、労金、全労済、住宅生協、労信協、勤体協、勤文協、さわやかUの役職員67名が出席した研修会では、講演と事業団体からの課題提起、「暮らしの総合サポートセンター」の開設についての認識合わせを行った。

また、会場で滋賀県労福協が取り組んでいる「遠位型ミオパチー」を、国の特定疾患(難病指定)に認定させるための署名活動も実施した。

研修会の冒頭、上田弘志理事長は「6年目に入ったLSC運動をより充実させるため、これまでの『いしかわ緊急サポートネットワーク事業』と『福祉なんでも相談』に12月1日に開設する無料職業紹介所『ジョブいしかわ』を加え、労福協・LSC事務局を『暮らしの総合サポートセンター』と位置づけたい。皆さんの力強い支援で、県下一円に拡がるようお互いに頑張ろう」と挨拶した。

引き続き、クレ・サラ相談等で活躍している喜成清重司法書士が「貧困撲滅キャンペーンの取り組みについて」と題し講演。今年行われた『反貧困2008全国キャラバン行動』の石川県行動(9月4日～8日)と47都道府県をリレーして東京明治公園で行われた「打ち上げ集会」(10月19日)の内容を説明した後、消費者被害・高金利被害・過剰与信問題に対し「貧困の大きな要因であり、消費者庁の設置を早急に実現しなければならない」と訴えた。また、日本の自殺者数が連続して三万人を上回る社会問題を取り上げ「この数は、交通事故死の三倍以上にもあり、内訳を見ると、もともと自殺者に占める割合の高い中高年男性の自殺者数が、さらに増えている」と貧困層の増加の現状を説明し、貧困の原因については「自然災害以外は人間が作っているものであり、ニートや年金生活者を含め、貧困をなくすネットワークの構築と法律家の増員が必要」と話し、講演を結んだ。

「事業団体からの課題提起」では、津田勝北陸労働金庫石川県本部次長が、北陸ろうきんが実施している「生活応援運動」については、クレ・サラ被害者を含め、多重債務者の相談対応を実施していることや各種セミナーを開催したことなどを報告。また、水野志郎全労済石川県本部専務理事が、2008年度全労済石川県本部の上半期の事業状況と目標についてや新生協法の施行に伴う課題、県本部の財務基盤強化に向けてをそれぞれ説明した。

次に、才田巖県労福協専務理事が労福協・LSC



上田会長



喜成司法書士



津田次長



水野専務



才田専務

C事務局がめざしている『暮らしの総合サポートセンター』について説明し、「いしかわ緊急サポートネットワーク事業」の廃止に関して、「福祉なんでも相談」と「連合石川労働相談」との一体化についてや「無料職業紹介所『ジョブいしかわ』」の概況を報告した。

参加者より「緊サボ事業の廃止により会員に迷惑がかかる」や「ジョブいしかわの事業を含め、金沢市集中型の運動になっていないか？」との質問が出され、綿征一県労福協常務理事より「廃止により、緊サボの会員には絶対に迷惑を掛けない」また、集中型の運動について「力がついた段階で、将来は各地域LSCでも、同じ体制が取れるようにしたい」と答え、16時10分に研修会を終了した。

事務局日誌

<11月>

- | | |
|--------------------------------|-----------|
| 26(水) 第9回LSC研修会 | フレンドパーク石川 |
| 27(木) 第40回食とみどり、水を守る全国集会(～28日) | 青森市 |
| 29(土) 2008ろうきんフェスタ | 県産業展示館 |

<12月>

- | | |
|---------------------------|-----------|
| 1(月) 無料職業紹介所「ジョブいしかわ」開設 | フレンドパーク石川 |
| 〃 事務局会議 | フレンドパーク石川 |
| 4(木) 消費者大会実行委員会、消団連幹事会 | フレンドパーク石川 |
| 5(金) 石川労信協第7回理事会 | フレンドパーク石川 |
| 9(火) 中部会館協第2回幹事会(～10日) | 富山市 |
| 10(水) IL0「ティーセント・ワーク」セミナー | 労済会館 |
| 11(木) 食・緑・水ネット第3回総会、学習会 | フレンドパーク石川 |
| 12(金) フレンドパーク石川「防火講習会」 | フレンドパーク石川 |
| 15(月) 北陸三県連合・労福協・労金連絡会議 | 北陸労金 |



第8回

石川県大衆運動活動家顕彰会

石川労福協や連合石川、民主党県総支部連合会、社民党県連合で設立した「石川県大衆運動活動家顕彰会」の第8回合祀追悼会が11月23日、金沢市卯辰山の顕彰碑前で行われ、参列した遺族ら約30名が運動に身を投じた活動家194名の功績を讃えた。

早朝よりの冷雨が上がった式場で、顕彰会の上田弘志会長が挨拶し、富瀬永幹事が「設立趣意書」を朗読した後、新たに合祀された3名の氏名が刻まれた顕彰プレートが奉納され、参列者が献花し祈りを捧げた。

引き続き、フレンドパーク石川で開かれた「感謝のつどい」では、上田会長や田中仁民主党県総支部連合会幹事長代理、宮下登詩子社民党県連合代表が挨拶し、川島靖県退職者連合会長が献杯の音頭をとった。また、出身単組・産別代表が新たに合祀された故人の組合活動歴やエピソードを語り、ご遺族よりお礼の言葉が述べられた。

顕彰会は、政治・労働・文化などの分野で、平

合祀者

上杉英隆 (1944～2008)

推薦団体：情報労連石川県協議会

主な経歴：全電通石川県支部副委員長

白沢 実 (1921～2008)

推薦団体：全日通労働組合石川県支部

主な経歴：金沢市議会議員

小西乙松 (1911～2008)

推薦団体：全港湾労働組合七尾支部

主な経歴：全港湾日本海地本委員長

和と民主主義の発展、教育・福祉・環境等の向上に尽力された物故者を顕彰し、併せて残されたご遺族を励ますことを目的としたもので、過去に合祀された人たちのご遺族も参列した。

なお、124名が合祀されている「石川県解放運動無名戦士顕彰会」から引き継いだ「石川県大衆運動活動家顕彰会」には、これまで67名(第1回＝29名、第2回＝7名、第3回＝12名、第4回＝7名、第5回＝3名、第6回＝4名、第7回＝5名)が合祀されている。

第40回食とみどり、水を守る全国集会 食と農の危機に立ち向かおう!

11月27日～28日、青森市・青森市民ホールで「第40回食とみどり、水を守る全国集会」が『食と農の危機に立ち向かおう! あずましの里青い森から未来に向けて"ケツぱるぞー"』のスローガンのもと、全国から約600名が結集して開催。石川県より上田弘志代表や幹事、加盟・支援団体(労福協・全農林・自治労・県教組・高教組・全国一般・全水道・地協・勤労協)から総勢17名が夜行列車にゆられ参加した。

集会の冒頭、福田精一全国実行委員長が「我が国の一次産業が衰退する一方で、食品偽装や食の安全、これに対する食品安全行政の不備が問われた一年でもあった」と挨拶の後、鈴木宣弘東大教授及び生産者、消費者の3名から「食と農の危機に対し



てどう立ち向かうか」をテーマに、それぞれの立場から提言された。

2日目は青森国際ホテルに場所を移動し、初日の提言を受け5つの分科会が開催され、「食料問題の現状と課題」、「森林・水を中心とした環境問題」等について討論された。

その後、総括集会(青森市民ホール)で、弘前大学の神田健策教授から「食料・農業・農村問題と地域農業の再生」をテーマに東北・地域における実践活動等の特別報告がされた。

最後に、集会アピール『地域の活力の輪を広げる』を確認し、全日程を終えた。

食・緑・水ネット事務局長 山本康晴

勤文協主催 第58回石川県勤労者美術展

石川県勤労者文化協会主催「第58回石川県勤労者美術展」が11月12日から16日まで金沢勤労者プラザで開催された。

日本画、洋画、書道、写真、手工芸の5部門で日頃、創作活動に励む会社員や主婦、招待者(過去、同展の大臣賞受賞者)らの意欲作335点が展示された。

同展は昭和26年、石川県が「勤労者文化祭」として開催。昭和43年に県勤労者文化協会が設立され、第18回より勤文協が引き継いで開催している。



大樋会長が挨拶

賞、北陸放送社長賞、連合石川会長賞、石川県議会議員賞、金沢市議会議員賞、石川県労働者福祉協議会理事長賞、北陸労働金庫石川県本部長賞、全労済石川県本部理事長賞を各1点と佳作数点を決めた。また、勤文協創立40周年を記念し特別賞各1点も選ばれた。

勤文協華道部の会員による生け花で飾られた会場には、期間中約1,600名の来場者が作品をじっくり鑑賞した。

最終日の16日、同会場で閉会式が行われ、狩山久弥勤文協副会長、水野志郎全労済県本部専務理事らが挨拶し、各部門の審査員が講評した後、受賞者110名に表彰状が贈られた。

厚生労働大臣賞、県知事賞、県議会議員賞を受賞した作品15点は、11月30日～12月4日の間、県庁19階展望ロビーに特別展示された。



11月12日、9時30分より同会場で開会式が行われ、主催者を代表し大樋長左衛門勤文協会長と澁谷秀行県商工労働部労働企画課長が挨拶。後援・協賛団体の吉田歩金沢市産業局労働政策課長、上田弘志県労福協理事長(連合石川会長)、高宮良貴北國新聞事業局事業部長が祝辞を述べた後、テープカットを行い、勤文協顧問の先生や出品者代表らが加わったクス玉割りで開催した。

これに先立ち、9日には同会場で12名の審査員が厚生労働大臣賞、石川県知事賞、勤文協会賞、北國新聞社長賞、金沢市長



県庁展望ロビー特別展示場

日本画



厚生労働大臣賞
「赤きバラの詩」
鹿島理子(金沢市)



石川県知事賞
「実り」
三島美智子(金沢市)



勤文協会賞
「みのり」
谷鋪ちづ子(金沢市)



金沢市長賞
「アヴィニヨンの街角」
鍋島茂明(金沢市)



40周年特別賞
「盛秋」
平野裕紀子(津幡町)

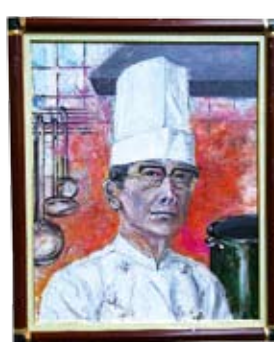
洋画



厚生労働大臣賞
「遊泳」
石倉博美(内灘町)



石川県知事賞
「ひまわり」
多田公子(金沢市)



勤文協会賞
「一筋45年」
有田信喜(小松市)



金沢市長賞
「水門橋」
平林辰洋(津幡町)



40周年特別賞
「荒磯のめぐみ」
岡田博(金沢市)

書道



厚生労働大臣賞
「星野富弘 風の旅より しおん」
井村礼子(金沢市)



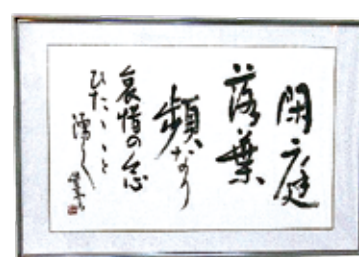
石川県知事賞
「心」
広島寛子(金沢市)



勤文協会賞
「歳月不待人」
前川久栄(金沢市)



金沢市長賞
「心與月俱静」
辰田佳寿子(金沢市)



40周年特別賞
「閑庭落葉」
小泉紫雲(津幡町)

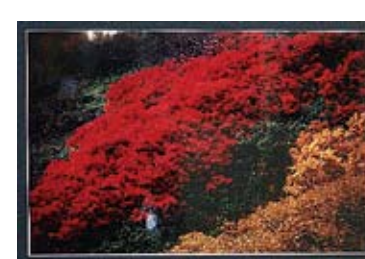
写真



厚生労働大臣賞
「躍動」
中井敏雄(金沢市)



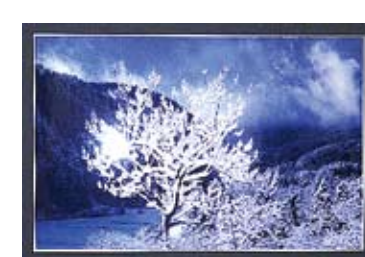
石川県知事賞
「愛犬」
番字一光(加賀市)



勤文協会賞
「深紅のなだれ」
一明政行(金沢市)



金沢市長賞
「王者プロテア」
村田泰恵(金沢市)



40周年特別賞
「雪の花」
松本健(金沢市)

手工芸



厚生労働大臣賞
「彩」
山本典子(白山市)



石川県知事賞
「雅舞」
村田由香理(金沢市)



勤文協会賞
「夏のなごり」
辻行枝(能美市)



金沢市長賞
「花器」
中山和良(金沢市)



40周年特別賞
「しかくいうつわ」
小坂昌子(金沢市)



金沢地域LSCと北陸労働金庫本店・金沢南支店・金沢西支店・県庁出張所が主催する「お客様感謝祭『ありがとう、ろうきんフェスタ2008』」が11月29日(土)、金沢市の県産業展示館2号館で行われた。

今年で3回目となるフェスタの会場では、手品ショーや野菜の即売、温風ヒーターやオーブントースター等が当たるお楽しみ抽選会、山野草・草玉づくり等多彩な催しが繰り広げられた。

佐々木良盛金沢地域LSC会長の開会宣言で、午前10時より開場したフェスタには、一般市民やろうきん友の会、連合組合員の家族連れら約1,800名が来場し、初冬の日を楽しんだ。また、LSCや各店の常任推進委員・連合・労金・全労済・住宅生協・労信協・労福協等の役職員がお世話する各コーナーは、参加者で賑わった。

同会場では、金沢地域LSC主催の「ファミリーふれあい書画展」も開かれ、幼児から中学生までが制作した書や水彩画など130点を展示。勤文協顧問の杉村雄二郎氏(画)と氷田清風氏(書)の講評と表彰式も行われた。

北陸電力(株)『雷謡会』の謡曲で開演した会場中央のステージでは、森下さち(元エフエム石川アナウンサー)さんの司会で、連合石川構成組織や事業団体の職場の仲間が所属するクラブチームが

「ろうきんフェスタ2008」 ハロー人 coming

ジャズ・フォークソング・エレキ・トランペットの清らかな演奏を行った他、YOSAKOI、マジックショーを披露。地元の子供も達が力強い太鼓を演奏し会場を盛り上げる等、終日、舞台上で熱演が続いた。また、北陸労金本店営業部の猿谷倫子さんが、年末預金のお願いや労金商品をPRした。

会場ではその他、浅野川の氾濫で水害に遭った湯涌地区の野菜が並んだ「朝市コーナー」やボールプールとおもしろ自転車で遊べる「ちびっこゾーン」、たこ焼き・焼きそば・ラーメン・そば等の「飲食休憩ゾーン」、鶏卵・マヨネーズ・トイレットペーパー・砂糖等を特別価格で販売する「物価にチャレンジコーナー」、屋外で5社22台を即販売する「国産車展示会」が設けられた。また、いしかわ子育て支援財団から借り受けたパンダ親子とウサギの縫いぐるみ3体が来場者の人気を集めた。

最後は、YOSAKOI「うちなだ愉快的仲間たち」の華麗な演技でフェスタを終了した。

なお、これに先立ち、当日各ポジションを担当した労金職員6名が11月25日、テレビ金沢の「びーびーみつばち」に出演し、フェスタをPRした。

金沢地域LSC事務局長 谷内英明



河北LSC

「史跡めぐり」に27名が参加

河北地域LSC主催の秋季「史跡めぐり」を11月22日(土)、LSC会員ら27名が参加し開催された。

この一週間、雨続きの天候が、この日だけは時より太陽が顔を出す好天に恵まれた。これも、平生の行いが良い人ばかり集まったお陰と感謝。LSC幹事で津幡ふるさと探検隊の桑江朝英さんのガイドで津幡町地内を巡り、最後は宮島峡・滝乃荘で食事と入浴の楽しいひと時を過ごした。

前回の「俱利伽羅歴史国道散策」に続き二回目のガイド役の桑江さんは、コース上にある史跡や名物についての解説書を参加者に配布した。(有難う御座いました。)

特に、鳥越弘願寺跡は加賀における一向宗の最初の拠点と考えられ、その頃の城郭寺院の面影を鮮やかに遺しており、全国に比類の無い優れた遺跡であるとのこと。また、蓮如上人お手植えの大銀杏につ



いての逸話として、蓮如は「この箸を地に挿すが根付かなかつたら、笠地ヶ原は地獄ヶ原だ。根付いても実をつけることは無い」と女房衆の前で庭に箸を挿した。それが、何時の日か一本が銀杏の木に、もう一本は松に育った。現在は、銀杏の木だけが残り、見上げるような大木となったが、花をつけても実はないとのこと。

いろんな史跡を巡り、ほぼ予定通り午後12時に滝乃荘に到着。入浴、食事、カラオケや桑江さんの二胡(日本では珍しい楽器)の演奏などを楽しんだ。

来年のコースは未定だが、皆様の参加をお願いします。

河北地域LSC事務局長 吉川武久

勤体協主催 第42回秋季体育大会

石川県勤労者体育協会主催「第42回秋季体育大会」最終種目の第39回ボウリング選手権と第7回輪島市長杯バスケットボール・オープン大会が行われた。

「第39回ボウリング選手権」は11月23日、金沢市ジャンボボールで行われ、団体の1部(JBC会員)は、第1、第2シフトともにGOWANSEが、団体の2部(一般)は、第1シフトがうさぎクラブB、第2シフトがオールウエイズがそれぞれ制した。個人は、第1シフトの1部が蔵野博

久、2部が鈴木里志、3部(個人シルバー)が金森きみ子、第2シフトの1部が中野幸一、2部が得田修、3部が松本久雄がそれぞれ優勝した。

「第7回輪島市長杯バスケットボール・オープン大会」は11月29・30日、輪島市一本松総合運動公園体育館サン・アリーナで一般に21チーム、男女混合に9チームが出場して熱戦を展開。一般でカメレオン☆が制し、男女混合は田鶴浜クラブが2連覇を成し遂げた。

最優秀選手には一般で西田勝太(カメレオン☆)、男女混合で宮元智子(田鶴浜クラブ)が選ばれた。

石川労福協・連合石川共催
「2009年新春の集い」

1. 日 時 2009年1月6日(火) 11:00~12:30
2. 場 所 金沢都ホテル7F「鳳凰の間」
3. 参加人数 労福協 50名、連合石川 200名
4. 参加費 1人 5,000円

第32回石川労福協研究集会
第5回ライフ・サポートセンター代表者会議

1. 日 時 2009年2月27日(金)
2. 場 所 フレンドパーク石川
3. 参加団体 各事業団体、連合石川、ライフ・サポートセンター

子育て支援
いしかわ緊急サポートネットワーク

会員募集状況／サポート状況 11月30日現在

地域センター	サポート会員	利用会員	サポート回数
すず	6	9	12 (+5)
わじま	2	9	7 0
ななお	6	3	0 0
はくい	2	5	0 0
かほく	12	53 (+1)	53 (+1)
かなざわ	107	301 (+5)	460(+58)
はくさん	26	69 (+1)	82 (+9)
こまつ・のみ	18	34	30 (+6)
かが	3	4	0 0
計	182 0	487 (+7)	644(+79)

※()は前月比。なおサポート回数は今年度の総数